

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月24日

【評価実施概要】

事業所番号	3873900702		
法人名	有限会社 別当		
事業所名	グループホームコスモス		
所在地	宇和島市三間町黒川3 8 5 番地 1 (電話) 0895-20-7211		
管理者	秋本 コマ子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目 1 - 3 チフネビル501		
訪問調査日	平成20年12月12日	評価確定日	平成21年1月24日

【情報提供票より】 (平成20年11月21日事業所記入)

(1) 組織概要					
開設年月日	平成17年5月27日				
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人		
職員数	17 人	常勤	17人, 非常勤 0人, 常勤換算 3.4人		
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)					
家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる		
敷金	有(円) (無)				
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無		
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円	
	夕食	500 円	おやつ	円	
	または1日当たり 円				
(3) 利用者の概要 (平成20年11月21日現在)					
利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	1 名	要介護2	5 名		
要介護3	8 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	74 歳	最高	94 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算					
指定	(あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護			
指定	あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護			
届出	あり・(なし)	短期利用共同生活介護			
加算	あり・(なし)	医療連携体制加算			

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>利用者に「逆らわず従わず、愛を持って援助する」という理念のもと、地域とのつながりを大切にしながら取り組まれている。 職員会議の機会を捉え、管理者は、その時々の問題点を提示し、職員と共に考え、勉強されている。管理者は、日々のケアの中で、「利用者の心と命に向き合う」ことの大切さについて、職員にアドバイスされている。 毎月、利用者個々に、事業所全体の取り組みや、ご本人の健康状態や日々の暮らしぶり、写真等も載せた「家族会便り」を作成し、ご家族に届けておられ、ご家族は楽しみにされている。 管理者は、栄養士の資格を持っておられ、新鮮で消化の良い食材の使用や薄味を心がけておられる。</p>

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の評価結果を受けて、地域との関係づくりや、さらなる自立支援に取り組まれた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・自己評価は、各ユニットのリーダーが職員の意見をまとめ、管理者代行及び管理者が作成された。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・会議には、利用者、ご家族、民生委員、自治会長等も出席されている。利用者の「縄をなうことができる」という発言から、後日、地域の方が藁を持って来て下さり、利用者全員で縄をなわれた。又、地域の方から、地域のコスモス畑を見に来てはどうかという提案があり、利用者も一緒に出かけられたこともある。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・年に2回、開催される家族会総会や、毎月の利用料の支払いにご家族が来られた際等に、意見等を出してもらえるよう、働きかけておられるが、意見や要望は少な目である。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・事業所の「芋たき」の際には、管理者が、街宣車で地域に案内し、招待状のハガキも送付され、多くの近隣の方達が参加して下さった。地域の子供たちは、亥の子を突きに来てくれる。又、近隣の方は日常的に野菜を届けてくれたり、自宅に突った柿を穫りに来てはどうか等と、気軽に声をかけてくれる。</p>

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム コスモス

(ユニット名) こすもす棟・こでまり棟

記入者(管理者)

氏名

秋本コマ子

評価完了日

平成 20 年 11月 20日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>特に地域密着型を謳っていない以前からの理念には変わらないが、理念を理解・共有して介護の実践に繋げている</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者に「逆らわず従わず、愛を持って援助する」という理念のもと、地域とのつながりを大切にしながら取り組まれている。</p>		<p>地域密着型サービスとしての文言を理念に盛り込むことも検討したが、初心を忘れぬようこれまでの理念をしっかりと実践し、地域との繋がりとは別の形で深めていくよう取り組んでいる</p> <p>管理者は、現在の理念に加え「地域密着型サービス事業所」として目指していることを、具体的に盛り込んだ理念を新たに作成したいと話しておられた。</p>
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>管理者と職員は理念を共有し、理念に基づいた介護の実践に日々取り組んでいる</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員で話し合い作成された事業所の理念を、玄関や食堂に掲示されている。職員は、管理者の思いや熱意を共有し、日々のケアに取り組んでおられる。</p>		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>理念を入口すぐの壁に明示し、家族や地域の方々が面会や行事で来訪された際に分かりやすく説明している</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 管理者や職員は近隣の方々と気軽に声を掛け合える雰囲気作りを徹底しており、近隣の方々にはとれたての野菜を持ち寄っていただくなど、友好的関係を構築している		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の自治会や芋炊きなどの行事、消防団の活動や清掃活動などに参加している (外部評価) 事業所の「芋たき」の際には、管理者が、街宣車で地域に案内し、招待状のハガキも送付され、多くの近隣の方達が参加してくださった。地域の子供たちは、亥の子を突きに来てくれる。又、近隣の方は日常的に野菜を届けてくれたり、自宅に実った柿を穫りに来てはどうか等と、気軽に声をかけてくれる。		近隣の小学校の「交通安全見守り隊」の活動に、利用者も一緒に参加できるよう、管理者が小学校と話をすすめられ、近く実現できる運びとなっている。「この活動をきっかけに、利用者の徘徊時、声をかけてもらう等、さらに地域との相互関係を築いていきたい」と考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域との密着度が増してきたことで認知症や介護に関する質問などを気軽にしていただけるようになってきており、その都度相談に乗るようにしている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価の意義を理解しており、改善すべきと指摘された点については会議で検討し、具体的に改善策を実施している (外部評価) 自己評価は、各ユニットのリーダーが職員の意見をまとめ、管理者代行及び管理者が作成された。前回の評価結果を受けて、地域との関係づくりや、さらなる自立支援に取り組まれた。		今後も、さらに自己評価の際の職員個々の気付きを大切にされて、貴事業所のさらなる質の向上につなげていけるよう、取り組んでいかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>運営推進会議が定着してきたせいか、参加された方々から以前より率直な意見をいただけるようになってきており、大変参考にさせていただいている</p>		
			(外部評価)		
			<p>会議には、利用者、ご家族、民生委員、自治会長等も出席されている。利用者の「縄をなうことができる」という発言から、後日、地域の方が藁を持って来て下さり、利用者全員で縄をなわれた。又、地域の方から、地域のコスモス畑を見に来てはどうかという提案があり、利用者も一緒に出かけられたこともある。</p>		<p>管理者は、今後さらに、地域のいろいろな方に、もっと気軽に参加していただけるような会議にしていきたい、と話しておられた。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>介護に関してわからないことがある際には、市の担当者の方に直接ご意見を伺うなどしており、サービス向上に活かしている</p>		
			(外部評価)		
			<p>運営推進会議や市内のグループホームが集まる会には、市の担当者に出席いただいている。又、管理者は、運営や制度等について、日頃から市の担当者に相談されている。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>わからないことについては市の担当者に直接伺い、会議の席で話し合うなどして権利擁護に関する制度の理解と活用に努めている</p>		<p>制度の複雑さや現実との矛盾があるうえ、市等の専門の方々ですらそれぞれ意見が違うといったこともあるため、法律の改善及び理解・共有を深める努力に期待したい</p>
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>虐待が起きないように、また虐待が見過ごされないよう法律や実例を周知しており、会議で話し合ったり互いに注意を喚起し合っている</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約・解約時には、わからないことがあれば細部まで質問をしていただくようお願いし、十分な説明を行って利用者や家族の不安や疑問を解消して理解・納得をしていただいている		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 普段から利用者の声に耳を傾ける努力をしており、さらに相談部を設置して聞いた利用者の不満や希望について職員会議で話し合っており、同内容について運営推進会議の席でも議題として取り上げている		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 利用者の一か月の暮らしぶりなどについて記した「家族会便り」(毎月一日にそれぞれのご家族に送付)が浸透し、ご好評いただいている		
			(外部評価) 毎月、利用者個々に、事業所全体の取り組みや、ご本人の健康状態や日々の暮らしぶり、写真等も載せた「家族会便り」を作成し、ご家族に届けておられ、ご家族は楽しみにされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議、家族会総会、目安箱などによって意見や苦情等を常時受け入れており、ご家族からの積極的な意見も増えてきている		
			(外部評価) 年に2回、開催される家族会総会や、毎月の利用料の支払いにご家族が来られた際等に、意見等を出してもらえよう、働きかけておられるが、意見や要望は少な目である。		管理者は、「サービスの質向上のためには、ご家族の意見はとても大切だ」と考えておられる。今後、花見等の外出の際に、ご家族も一緒に参加していただき、ご家族同士の交流も図りたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員の意見や提案は毎月一日の職員会議で議題として討論している		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 常に十分な数の職員が確保できるよう勤務を調整しており、緊急時に補足できる臨時的職員も配置している		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動や離職は最小限に抑えており、利用者との持続的な関係維持に努めている。		
			(外部評価) 開設時からの職員がほとんどであり、利用者との馴染みの関係を築いておられる。管理者代行が、職員の良き相談者として、悩み等も聞き取っておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) あらゆる研修に出来るだけ参加するよう勧めており、研修参加後は会議で報告及び意見交換を行なっている		
			(外部評価) 事業所では、外部研修の受講を積極的に推進されている。又、職員会議の機会を捉え、管理者は、その時々の問題点を提示し、職員と共に考え、勉強されている。管理者は、日々のケアの中で、「利用者の心と命に向き合う」ことの大切さについて、職員にアドバイスされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			(外部評価)	以前から加盟している全国認知症グループホーム協会主催の研修会等の際に意見交換を行なっていることに加え、近隣の他ホームと交流できるよう包括支援センター主催のグループホーム連絡協議会にも出席するようになった	
			市内のグループホームが集まる会には、管理者・職員が出席し、意見交換されている。		管理者は、今後さらに、市外のグループホームも訪問し、交流を図りたいと考えておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			(外部評価)	意見や不満を何でも言える職場を目指しているが、やむなく生じたストレスは日常的な雑談等や個々の余暇で軽減するようにしている	
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			(外部評価)	個々の利用者に対する担当者制や、職員それぞれの個性を發揮するための部・係の配置を継続的に行なっており、それぞれが向上心を持って働ける環境や、その努力や実績が把握しやすい状況を作っている	
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			(外部評価)	入居時には早く新しい環境に慣れてご自身の意見が言えるよう特に多く時間を割いて意見を個別に聞くようにしている	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族から相談があった時点で細部に至るまでの説明で不安の解消に努めており、入居以後も常時質問や相談を受け入れていることを確実に伝えている		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談を受けてすぐにサービス担当者会議を行う事でのような支援が必要とされているかを検討し、入居即時にケアプランが作成できるよう準備しており、以後本人の変化に合わせて担当者会議を行なうことでその時点での本人と家族の最重要課題を見極めている		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 安心してサービスを受けられるよう、まず職員や他の利用者との関係作りや環境に慣れる手助けからスタートし、徐々にサービスを進めている (外部評価) ご本人が納得して入居できるよう、管理者が入院先等にもうかがい、ゆっくりお話を聴くようにされている。入居間もない方には、気持ちや声に寄り添いながら、馴れていただけるよう支援されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) ちょっとした手仕事をお願いしたり、昔の話をじっくり聞かせていただいたりなど、職員が助けていただく場面作りを心掛けており、一方的な介護を超えた信頼関係を築けていると思う (外部評価) 職員は、利用者と職員は互いに「助け助けられる存在」である、という思いを大切に日々支援されている。職員は、利用者一人ひとりが、これまで歩んでこられた生き様に学ぶことが多い。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族から話していただいた方が効果的と思われる場合には電話等で直接お話ししていただいたり、できる範囲で外食・外泊等をお願いしたり、面会やイベントの際に楽しく過ごしていただける雰囲気作りを行っている		まだまだ無関心な家族の認識不足が解消できていない部分はあるが、以前は職員が行っていた通院介助等を現在はなるべく家族にお願いするようにしており、少しでも利用者と家族だけの時間を作るようにしている
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している		面会時に少しでも長くお話ししていただいたり散歩に連れ出していただくようお願いしているが、最近では少しずつだが実際に散歩していただいたりといったケースも増えてきた
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 長くお付き合いのあるお友達があればいつでも来ていただけるようご案内しており、本人の要望があれば手紙や電話などでも連絡をとれるよう援助している		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 孤立しそうな利用者には歌やゲームなどのレクリエーションを使って輪の中に入れてもらえるよう工夫し、利用者同士の口論の仲裁をしたり、可能なら利用者が他の方の面倒を見る場面を作ったりしている		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退居(契約終了)後もご家族、病院、他施設と連絡して状況を把握するよう努めており、相談があればすぐに対応できる体制を作っている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) 日常的に利用者の声に耳を傾け、必要であればサービス担当者会議や定例会議の場で協議して実現に向けて努力している</p> <p>(外部評価) 職員は、利用者との日々の会話や表情の中から、個々の思いを汲み取れるよう努めておられる。個別の記録や申し送りノートに記録し、得た情報を職員間で共有されている。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) 個々の生活歴やサービス利用経過等は入居前の相談時に詳しく聞いており、入居後もご本人やご家族からの聞き取りを継続して情報を補足している</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) 個々の生活状況や心理・健康状態についてケアプラン・経過記録・バイタル帳・手仕事&レク帳・連絡帳などに詳しく記載し、さらに以前より職員間の引継ぎも強化しており、それらの内容を総合的に判断しつつサービス担当者会議や定例会議で改善策を検討している</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) ケアプラン作成の際には各項目をサービス担当者会議で話し合い、必要な場合にはご家族や医師などに相談したりしているが、無関心なご家族にはケアプランを見て承諾してもらうのみになってしまっている</p> <p>(外部評価) ご本人の思いを主体に、職員の気付き等も採り入れ、介護計画を作成されている。ご家族の中には「お任せします」という方も多い。</p>		<p>ケアプランは本人や介護者に重要でも自分には関係ないと思っておられる家族もあるため、今後は面会時にケアプランを生活状況と合わせてもっと詳しく説明するなどして、身近な問題として認識してもらえよう努めたい</p> <p>事業所では、今後さらに、ご家族にも、より分かりやすいような介護計画の様式や表し方にしていきたいと考えておられる。ご家族の意見が反映できるよう、工夫を重ねていかれることが期待される。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			見直し時期であるか否かに関わらず、本人に変化が見られた場合、その都度サービス担当者会議を行って現状に即したプランに修正している		
			(外部評価)		
			3ヶ月ごとの見直しと、状態変化に応じた随時の見直しを行っておられる。現状に即した介護計画の見直しができるよう、介護計画にもとづいた日々の「サービス実施表」を作成されている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			ケアプラン・経過記録・バイタルチェック帳・手仕事&レク帳・連絡帳などを職員誰もがいつでも見られるようにしてあり、それらの情報を元にサービス担当者会議や定例会議でプラン見直しを検討している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人の状況や要望はその都度サービス担当者会議で協議するなどして対応しており、家族には来訪時に意見を伺うなどしており、その時々々の要望に応じた柔軟な支援を行なっている		
			(外部評価)		
			病院受診や買い物等、利用者やご家族の希望に合わせて対応されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員の方が来館された際にお話していただいたり、災害訓練の際に消防署員の方々に協力していただいたり、ボランティアの方に余興で楽しませていただいたりなどしている		利用者から地域資源への協力として、利用者が交通安全の襷と旗を持って小学生の登下校を見守る「交通安全見守り隊」の活動に参加できるよう話をすすめている
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 特定の利用者についてわからないことがあれば以前利用されていたサービス事業者やケアマネジャーにお話を伺うことはあるが、他のサービスを利用するための支援は特に行っていない		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 包括支援センターがグループホーム連絡協議会を主催していることもあり、集まりの際に質問したり話し合ったりなどしている		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人と家族の意向を重視し、以前からのかかりつけ医とホームの担当医を選択してもらっている (外部評価) ほとんどの利用者は、事業所の協力医が、かかりつけ医となっている。受診の際には、ご家族が同行されることもあるが、職員が同行し、支援されることが多い。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 以前から変わりなく近くに認知症の専門医もしくは認知症に詳しい医師がいないため、健康上の問題は医師に相談するが、認知症に関する問題は職員それぞれが学び続けることで対処している		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 通院時に利用者をよく知る看護職の方に意見を伺ったり、現在の生活の様子についてお話したりなどしており、その中から支援のヒントをいただいている		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時に安心して過ごせ、早期退院に向けて最善の策をとれるよう医療機関と連携をとっており、必要と判断した場合は管理者が病室を訪問して本人や家族の相談に乗っている		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 他のグループホームにくらべ重度あるいは終末期に近づいた利用者を多く受け入れているため、入所前の相談の段階から本人、家族、医療機関と話し合っ方針を共有している (外部評価) 入居時から継続的に、ご本人やご家族と終末期の支援について話し合われている。ほとんどの方が、最期まで事業所で過ごしたいと望んでおられ、これまでに2名の方が、職員に見守られながら最期を迎えられた。		今後、重度化や終末期に向けた方針のさらなる共有のためにも、事業所の支援の方向性を示し、利用者やご家族とも話し合いを繰り返していかれてほしい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 前項のとおり重度化や終末期の利用者に関する職員の経験が豊富であるため、可能不可能の見極めや医師と連携したケアが可能になっており、今後の変化についても随時サービス担当者会議などで検討・準備している		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入所時にはそれ以前の状況を詳しく聞いて環境変化によるダメージの軽減に努めており、退所時には必要な情報はすべて伝え、退所後でも質問等あれば常時受け入れるようにしている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者個々の人格を尊重し、理念に基づいて「逆らわず従わず」を念頭に置いて声かけに注意している</p>		
<p>(外部評価)</p>					
<p>職員は、利用者一人ひとりに応じた言葉かけに努めておられる。調査訪問時、排泄を失敗された方への対応に、配慮が必要な場面が見受けられた。</p> <p>理念に立ち返り、職員間で利用者のプライバシーの確保について、点検したり話し合われる機会を持たれてはどうだろうか。</p>					
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者それぞれの思いを率直に言っていただける環境作り、わかる力に合わせた説明、意思の尊重に留意して支援を行っている</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>なるべく利用者それぞれの希望にそった支援を心掛けているが、介護者・被介護者の関係に慣れることで職員が行なわなければならない仕事の段取りを優先してしまうケースも見られる</p>		<p>なるべく利用者の意思を優先させて個々のペースを守るため、職員それぞれが互いに声を掛け合っていくよう指導していく</p>
<p>(外部評価)</p>					
<p>職員は、食事時間や口腔ケア等、利用者の生活ペースや気持ちにも寄り添いながら、支援できるよう努めておられる。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 起床時に一日どの服を着て過したいか必ずご本人に尋ねるなどして身だしなみに関するご本人の意向を尊重しており、行きつけの理髪店・美容院がある方はそちらを優先し、ない方はホームが選んだ店の方に出張していただいている		女性の利用者の方々にときにはお化粧などもしてもらうことで、日々の生活に活力を持ってもらうよう支援していきたい
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 季節の食材はなるべく利用者の方々に皮をむいていただいたり、食前にお茶を配っていただいたり、食後の台拭きをお願いしたりなど、それぞれの力や意向に合わせてお手伝いしていただいている (外部評価) 食事前に、みんなで歌いながら軽く体操し、そろって「いただきます」の挨拶をしてから召し上がっておられた。事業所の畑で穫れた季節の野菜や、近所の方にいただいた新鮮な野菜が食卓に上り、職員と利用者は一緒に食事を楽しんでおられた。皆さん残すことなく、「おいしい」と言いながら食べておられた。目の不自由な方にも、できるだけご自身で食べられるよう、職員はさりげなく支援されていた。食後、下膳されている方もうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 安全・防災の観点から酒やたばこは禁止しており、おやつも健康上の理由(高血圧・糖尿病)で量を増減するなどしてはいるが、好みを考慮しての区別はしていない		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 自立に向けた支援を目指す意味において、テープ式のオムツではなく布パンツ・リハビリパンツ・尿とりパッドの組み合わせを個々の利用者に合わせて利用しており、排泄パターンの把握によって使用を少しでも減らせるよう努力している		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			なるべくご本人の意向と職員の都合を折り合わせて入浴していただいている		
			(外部評価)		
			同性介助を望まれる方には、希望にそった入浴支援をされている。入浴を拒まれる方には、タイミングを配慮されたり、好きな歌と一緒に口ずさむ等、工夫して支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			就寝・起床時間はご本人の習慣を尊重したり、使い慣れた寝具を使っていたりなど、安心して休んでいただけるよう支援している		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			それぞれの能力や好みに合わせた手仕事などをしていただいたり、趣味の支援やレクリエーションなどによって気晴らしの支援をしている		
			(外部評価)		
			毎月のカレンダー作りや習字、掃除や雑巾縫い等、利用者一人ひとりが持てる力を発揮できるよう、支援に努めておられる。		管理者は、今後さらに、利用者と一緒に、しめ縄や布草履を作り、地域のバザーで販売する等、利用者の喜びや張り合いとなるような取り組みも考えておられた。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			認知症の程度に合わせ、お金を持たせられない方、一定のお金を預かっている方、本人に小額の現金を所持してもらっている方など、個々に合わせて区別している		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			日常的な日向ぼっこや散歩以外には、職員の余裕をみて希望に合わせた外出を支援しており、その他はご家族に外出・外泊をお願いしたりなどしている		
			(外部評価)		
			日常的に日向ぼっこや散歩を楽しまれている。地域のスーパーで買い物をされたり、季節ごとに花見物にも出かけておられる。		さらに今後は、花見物の際に、ご家族もお誘いして、一緒に楽しく過ごすことができるような外出の機会を、増やしていきたいと考えておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			季節に合わせて桜、コスモス、チューリップ見物などの機会を作っているが、まだご家族の参加は実現しておらず、ご家族に利用者を連れて外出していただくに留まっている		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			特に電話や手紙等の制限は設けておらず、利用者から電話の要望があれば取り次いだり、便箋や葉書を用意したり字を書くのを手伝ったりなどしている		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問していただけるよう働きかけており、その雰囲気作りも努力している		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束は一切行っていない		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室や玄関に鍵をかけることの弊害は全員が理解しており、鍵をかけないケアに取り組んではいるが、最低限の安全に留意して玄関はナンバー式の自動ドアを使用している (外部評価) 玄関は、ナンバー式の自動ドアになっており、出入りの際にチャイムが鳴るようになっている。調査訪問時、散歩に出かける利用者に、職員が付き添っておられた。		今後も、利用者一人ひとりが自由に過ごすことができるよう、細やかな支援を継続していかれてほしい。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) プライバシーへに留意して利用者が不快にならないよう注意しながら、安全に配慮しつつ常に見守りを行っている		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物品でも生活の一部として必要なものは目に付くところにでも置いており、利用者にその都度注意を喚起することで危険を防いでいる		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 防災訓練の実施、見守りの徹底、緊急対応マニュアルなどで事故防止に取り組んでいる		防災訓練の一環として、今年は消防署員の協力を得て心肺蘇生法（応急手当やAEDの使用法等を含む）の研修を行なった

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期訓練は行っていないが、応急手当や初期対応の緊急対応マニュアルの閲覧と衛生部職員の助言によって日々学んでいる		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年一回の防災訓練を実施しており、地域の方々とも運営推進会議において災害時の対応について討議した (外部評価) 防災訓練時には、消防署の指導のもと、職員が消火器を実際に使用された。災害時には、地域の防災役員に連絡して、協力していただけるようになっている。管理者は、日頃から「とにかく火を出さないように」火の元の点検を徹底されている。		地震の際の訓練も行う予定だったが、消防署の方との連絡が行き違って以前行なった火災訓練を再度行なったので、次回はぜひ地震の訓練を行ないたい 今後も、水害や地震等、さまざまな災害を想定した訓練を重ねていかれてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 抑圧感のない生活を送るためにはある程度の危険は避けられないことについて家族に説明しており、職員が安全に配慮して見守りつつ利用者本意の生活が送れるよう支援している		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体重は月一回、体温と血圧は毎日計測、その他の身体的異変については見守りで対応しており、異変に気付いた際の迅速な情報共有・対応をさらに徹底するため、日々の引継ぎを以前より詳細に行なうようにしている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々の薬に関する情報は説明書を利用者個々の経過記録に添付してその都度閲覧することで理解・確認しており、わからないときには本、インターネット、医師への相談等で調査・共有している		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食物繊維の多い食材を使ったメニューや軽い運動、個々に合わせた薬などで便秘予防に取り組んでおり、個々の利用者の排泄記録と口頭での引き継ぎを参考にしている		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアは必ず行うよう働きかけており、自身の意志・力でケアする人、職員の促しによって自力でケアする人、職員が手助けしてケアする人など、個々の力に合わせて支援している		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 経過記録や口頭での引継ぎによって食事量を把握しており、水分はご本人の習慣に合わせてなるべく多く摂っていただけるよう努力している (外部評価) 管理者は、栄養士の資格を持っておられ、新鮮で消化の良い食材の使用や薄味を心がけておられる。利用者個々の状態に応じて、ご飯の分量を加減しておられる。おやつのお茶、果物やジュース等で水分補給できるよう支援されている。好き嫌いのある方等には、管理者がご本人に納得できるような言葉で説明され、食事はほとんどの方が完食される。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) インフルエンザの予防接種はご本人の意向を尊重しつつ行っており、ノロウイルス等の感染症予防は清潔保持の徹底を行うことで対応している		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>台所や調理器具の衛生管理と新鮮・安全な食材の使用・管理を徹底している</p>		<p>清潔保持が難しい利用者にはその都度声かけによって手洗いやうがい等行なってもらうものの、調理や後片付けを手伝ってもらうのは難しい現状があり、現在も対応に苦慮している</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族や近隣の方々がいつでも出入りできるよう昼間の施錠は行なっておらず、内からはナンバー式の自動ドアで開くため、利用者の出入りには職員が付き添うことで対応している</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>共有空間の衛生保持を徹底したうえで、季節の花を飾ったりなどして居心地よく暮らしていただけるよう工夫している</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関には、季節の花が生けられ、クリスマスツリーや利用者の習字の作品等も飾っておられた。畳の部屋にはソファが置かれ、利用者がくつろいでおられた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食堂のテーブル、テレビ室のソファ、その他ベンチや椅子などを工夫して配置しており、利用者個々の意向に合わせた居場所の充実を図っている</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			常設の家具はベッドとタンスのみで、その他の家具(椅子、仏壇、衣装ケースなど)はご本人の馴染みのあるものを使っていたりしている		利用者がお若い頃の写真等は本人が所持していない場合がほとんどだが、家族に相談してそういった写真を居室に飾ることなども検討したい
			(外部評価)		
			畳の居室もあり、畳の上に布団を敷いて休まれている方もおられる。居室には、籐椅子や仏壇等を持ち込まれていた。ご本人手作りのカレンダーやご家族の写真等を飾っておられる居室もうかがえた。		管理者は、その人らしい暮らしを支援するためにも、さらに、利用者一人ひとりが居心地よく過ごせるような居室のしつらえについて、検討したいと話しておられた。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気扇や窓の開閉で換気をしており、冷暖房は利用者の意向を尊重しつつ使用を最低限にとどめるよう配慮している		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下の手すりによって介助しなくても自身の力で歩く練習ができた、口腔ケアの道具をはじめ生活に必要な物品はなるべく本人の手の届く場所に置いて、自分の意思で行動していただけるようにしている		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			利用者個々の理解力に差があるため、それぞれに合わせた方法でじっくり話しかけることで混乱や失敗を防げるようにしている		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			日向ぼっこの際に畑の野菜や花壇の花が見えるようにしてあり、花を植えるのを手伝っていただいたりもしている		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々の生活の中でそれぞれの思いを聞く場面を作っており、その都度じっくり向き合っており、検討が必要な場合はサービス担当者会議や定例会議において協議している
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	10:00と15:00をお茶の時間にしており、その際に利用者と職員が一緒にテーブルについて寛くようにしており、その他にもテレビを観ている利用者の中に入って話しかけたりなどもしている
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	時間も食事間隔も全くわからない利用者や昼夜が逆転してしまいがちな利用者がおられるので、最低限の規則には従っていただいている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	現状認識が全くできない方や知能遅滞のある方など、支援の意図が理解できない場合を除いては、概ね明るい表情で生活していただいている
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	希望や意欲を引き出すまでに至っていない方がおられるうえに、職員の動ける余裕が限られているため、たまにしか外出に同行することができず、ご家族との外出で補っていただいている状況である
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員、医師、家族の連携で、バイタルチェック、通院、往診、服薬管理などは万全の体制にあり、そのことを利用者にも理解していただいている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その時々状況や要望を全く把握できない方には要望が不可能な場合もあるが、そういったケースを除いて、要望・希望を実現出来るよう努力している
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の意見や要望は常に受け入れる状態にあり、実際に相談を受けた場合も迅速に対応し、できる範囲での不安解消・要望実現はできており、信頼していただいていると思う
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③たまに 4 ほとんどない	以前よりは地域の方々との垣根は低くなってきていると思うが、現時点での来訪はたまにしかない

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 評価) ② 大いに増えている ③ 少しずつ増えている ④ あまり増えていない ⑤ 全くいない	運営推進会議での率直な意見も増えてきており、上記のように日常の来訪者は多くな いもののイベント等に來ていただける人数は着実に増えている
98	職員は、生き活きと働けている (自己 評価) ① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない	個性を生かしたケアの役割分担ができており、連携もしっかりできているので、それ ぞれが自身の力を十分に発揮できている
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	認知症ゆえに場面場面での現状認識ができずに誤解によって細かい不満等は見られる が、その都度解消できるようお話ししているので、ほぼ満足しておられるように思う
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ① ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが ③ 家族等の1/3くらいが ④ ほとんどできていない	来訪時などにご意見を伺うようにしているが、現在の利用者の状態を大変喜んでおら れる方がほとんどのようだ

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

認知症の程度や介護度が利用者によってこれだけ多岐にわたるグループホームはなかなかないと思います。それ以外にも利用者それぞれが性格の違い、認知症以外に抱えておられる病気の違いなど、「認知症のお年寄り」では括れない個性を持って生きておられる中、職員が個々に合わせた対応を徹底することで全ての利用者がみんなの輪の中に入って楽しく生活ができるよう支援しているのがグループホームコスモスです。それぞれがご自身の持つ力を使って自立への道を進んでいけるよう利用者の声に「逆らわず従わず」、職員が利用者を助け、利用者が職員を助け、利用者が利用者を助ける、そんな助け合いの介護を目指し、実践しています。また、現在は以前よりもご家族や地域の方々との距離が縮まってきてはありますが、未だ「地域密着型」と大々的に誇れる状態にはないと思いますので、ご家族、地域の方々、自治体、包括支援センター、医療機関、グループホーム連絡協議会などとの連携をさらに深めて、真の地域密着型サービスを実現できるよう努力していきます。